

会 議 概 要

会議の名称	平成29年度第2次社会教育中期計画策定にかかる 第3回第3専門部会（芸術文化・博物館文化財・文化施設）会議
開催日時	平成29年11月24日（金） 午後6時30分～
開催場所	湧別町文化センターTOM 第3会議室
出席者名	部会委員～深谷部会長、金子委員、三品委員、安瀬委員 オブザーバー～宮澤委員長、石垣副委員長 社会教育課～星課長、根子補佐 ふるさと館JRY～田中館長、中島副館長、林学芸員
欠席者名	なし
傍聴人の数	なし
会議の内容	(1) 第2次社会教育中期計画第3専門部会 芸術文化・博物館文化財・文化施設分野の推進目標、課題解決の ための方策について (2) その他
会議資料	会議議案
会議録	■ 有 （ <input type="checkbox"/> 全文筆記 ■ 要点筆記 ） <input type="checkbox"/> 無
備考	

結果要旨

【芸術・文化活動の推進目標】について

芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう

- ・原案承認。

【芸術・文化活動の課題解決のための方策】について

<学習機会の提供>

- 町民ニーズをふまえた上で、質の高い芸術文化作品の鑑賞機会の提供に努めます。
- 青少年が芸術文化に触れる機会の拡充に努めます。
- カルチャー教室、各種体験事業、ワークショップなどの実施により、芸術・文化に親しむ機会の提供に努めます。

- ・原案承認。

<活動等の支援>

- 文化連盟を始め、各種文化団体の活動を支援します。
- 芸術文化奨励事業補助等制度の活用促進に努めます。
- 町民ギャラリー等を利用した展示会の開催及び奨励に努めます。 学習の成果を活かす場として、
町民ギャラリーや総合文化祭等の活用に努めます。

- ・「湧別、・上湧別（文化協会）」の文言がなくなったのは良い。
- ・文言はなくなったが、実際は総合文化祭を別々にやっており、観る人も少ない。広報もその地区だけで、いつやるか知らない。一緒にやる方が良いのではないか。
- ・ビッグウェーブと良いもの見よう聞こう会の協力はどうですか。
- ・なし。各々考えて実施している。原点に返って改革しようと考えている。文化連盟の方は内部のことなので、社会教育行政からだとも自由度がなくなるから、団体内で考えてもらわないといけない。
- ・文言はなくしていただいて良かった。垣根は実際とれていないが、文化祭を一緒にやりたいという会員の声があるので、上の役員がどう判断していくか。皆さんのおっしゃる通りで、中から変えていかないといけない。
- ・さみしい発表会でなく話し合っ一緒にやりたい。どちらかの施設を使うので、倍にはならないかもしれない。
- ・町民大学も成人式もそれなりに使う施設が必然的に、うまく住み分けられた。お互いに譲るのも期待できる。
- ・マンネリでなく、試行錯誤しながら変えてみる柔軟さが大切。連携も重要。
- ・現状と課題に文化連盟のことが書かれていることが、その通りなので、このままでよいのではないか。
- ・生涯学習の成果を活かす文面をどこかに入れたい。第一歩を支援するような何か。
- ・団体に入って活動している方はわかるが、個人はわからない。ギャラリーを上手に使ってもらえ

ればと思う。

- ・シブノツナイ遺跡に興味のある人があんなにいる。学習の成果を発表する場も必要では。
- ・文化活動をしている人の発掘までは協会も難しい。
- ・観てもらいたいという方もいるのではないか。
- ・文化祭に誘っても謙遜される。ハードルを越えやすいようにしていきたい。
- ・成果を活かす場として、人材バンクを作るとか。
- ・いろんな活動をしている人がいるという情報については、どの部会でも話題に出ている。
- ・「学習の成果を活かす場として、町民ギャラリーや総合文化祭等の活用に努めます。」に修正し承認。

<学習環境づくり>

- 芸術・文化事業の情報提供に努めます。
- さざ波・TOM両文化センターの特徴を活かした有効活用に努めます。
- 文化センターの計画的な設備の更新に努めます。

- ・文化センターの特徴が違うので、2つを維持したいと思う。
- ・原案承認

<連携・ネットワーク>

- 道や他市町村、北海道文化財団等の関係機関との連携を図ります。
- 文化連盟、芸術鑑賞団体、各種文化団体と連携し、芸術文化の振興に努めます。

- ・原案承認

【文化財保護活動・博物館活動の推進目標】について

地域の文化財の保護・保存環境の整備 ～ふるさとの豊かな財産を活かそう～

- ・モノを対象にしている。
- ・〇〇は〇〇という表現よりもあっている。
- ・原案承認

【文化財保護活動・博物館活動の課題解決のための方策】について

<文化財の保存・資料収集・調査研究>

- 次世代へとつなぐために埋蔵文化財の保護環境の整備に努めます。
- 北海道指定文化財シブノツナイ堅穴住居群の、調査研究を継続的に進めてまいります。
- 収集している石器、土器類の分類整理をすすめ、湧別地区の先史文化の調査研究を行います。
- 資料の整理分類をすすめて、特に重要な資料に関しては、データベース・目録等の作成を行い情報公開に努めます。

- 日常生活への応用を資料に関する調査研究を進めて、展示・教育普及活動へ活用します。
- 安定的な資料の保存ができる収蔵庫の建設について検討をします。

- ・長期計画の中でも収蔵庫の建設について記載がある。
- ・単独では難しいので、どこか空いた施設の出現を待ちたい。
- ・収蔵庫は必要。博物館はこの町の原点。重みがある。
- ・シブノツナイを調査したら文化財がどんどん出てくるのではないか。
- ・温度や湿度管理も必要になるので、準備していきたい。
- ・お宝の出現は期待している。
- ・「検討」だと弱いのではないか。
- ・収蔵庫は重要なので、じっくり考えたい。
- ・長期計画でも委員が考えたので、準じた表現にすべき。
- ・「安定的な資料の保存ができる収蔵庫の建設について検討をします。」に修正し承認。
- ・検討なので、建設以外の道も残されています。
- ・オジロワシ、アッケシソウについて。
- ・所管が環境省に移りました。

<博物館展示>

- 先史の展示の充実に努めます。(郷土館)
- 次世代を担う子供たちに理解しやすい展示づくりを行います。
- 常設展示での収蔵展示をおこない展示資料の増加をすすめます。

<博物館教育普及>

- 文化財(埋蔵文化財・記念物)を知る機会提供に努めます。
- 先史・開拓を知る体験学習を拡充します。
- 学校利用の促進に努めます。
- 出張学習の内容充実に努めます。
- 学芸員の専門性・教育力を高めるための機会を拡充します。
- 広報を活用し、博物館活動の周知に努めます。

- ・原案承認

20:00 閉会

平成29年度

第2次湧別町社会教育中期計画策定にかかる第3回

第3専門部会（芸術文化・博物館文化財・文化施設）会議

と き 平成29年11月24日（金）

午後6時30分

ところ 文化センターTOM 第3会議室

<会議日程>

1. 開 会

2. 部会長あいさつ

3. 議 題

○第2次社会教育中期計画専門部会

芸術文化・博物館文化財・文化施設分野

・推進目標について

・課題解決のための方策について

4. その他

5. 部会長あいさつ

6. 閉 会

<第3専門部会構成員>

部会長 深谷 聡

部 員 金子徳郎、三品博恵、安瀬 勇

委員長 宮澤 道 副委員長 石垣誠一

事務局 星 義孝、根子敏男、土佐信太郎

田中 仁、中島一之、林 勇介